



# 日弁連主催シンポジウム 福島原発事故被害の賠償と回復 ～その現状と課題～

日時

2017年 **12月2日(土)**  
13:00～17:00(開場12:00)  
参加費無料・事前申込み不要

場所

明治大学 駿河台キャンパス  
リバティタワー2階1021教室

住所

東京都千代田区神田駿河台1-1

- 御茶ノ水駅(JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線)下車徒歩約3分
- 新御茶ノ水駅(東京メトロ千代田線)下車徒歩約5分
- 神保町駅(都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線)下車徒歩約5分



福島第一原発事故から6年が経過し、避難地域の指定解除も進んでいますが、他方、帰還はほとんど進まず、多くの事業者は元の状況に復することでもできず、被害は継続し、また、生活は重大に侵害されたままです。そうした中で、全国各地で、民事訴訟を通じた損害の賠償と被害の回復に向けた動きが進行しており、原子力損害賠償解決センター(ADR)にも、2万件を超える申立てがされ、1万7000件を超える和解が成立しています。また、避難者による集団訴訟について、今年3月17日には群馬地方裁判所で、9月22日には千葉地方裁判所で、10月10日には福島地方裁判所と連続して判決が出されています。

こうした状況において、福島原発事故被害の賠償と回復について検討していくため、各地の集団訴訟の判決やADRの状況を検討評価し、さらに、賠償と被害の回復の課題について、検討議論する機会として、本件シンポジウムを企画しました。ぜひ多数ご参加ください。

プログラムは裏面をご覧ください。

主催: 日本弁護士連合会 共催: 日本環境会議

お問い合わせ: 日本弁護士連合会人権部人権第二課 TEL: 03-3580-9509

**JFBA** 日本弁護士連合会



# ◆プログラム◆（予定）

## 第1部（総論）

### 報告「訴訟の状況、判決の評価と課題」

吉村良一氏（立命館大学大学院法務研究科教授・民法）

### 報告「福島原発事故の被害の特性」

除本理史氏（大阪市立大学大学院経営学研究科教授・経済学）

### 報告「ADRと訴訟における原発事故被災者損害論の現状と課題」

二宮淳悟氏（弁護士，日弁連東日本大震災・原子力発電所事故等対策本部委員）

### 特別報告「原子力損害賠償紛争審査会による指針の意義と限界」

大谷禎男氏（弁護士，元裁判官，元原子力損害賠償紛争解決センター総括委員長，元原子力損害賠償紛争償審査会委員）

## 第2部（各論）

### 報告「損害論の課題」

潮見佳男氏（京都大学大学院法学研究科教授・民法）

### 報告「慰謝料について」

若林三奈氏（龍谷大学法学部法律学科教授・民法）

### 報告「国の責任について」

下山憲治氏（名古屋大学大学院法学研究科教授・行政法）

### 総合討論（弁護団からの発言等）

※当連合会では，本シンポジウムの内容を記録し，また，成果普及に利用するため，会場での写真・映像撮影及び録音を行っております。撮影した写真・映像及び録音した内容は，当連合会の会員向けの書籍のほか，当連合会や共催団体等のホームページ，パンフレット，一般向けの書籍等にも使用させていただくことがあります。撮影されたくない参加者の方は担当者に申し出てください。また，報道機関による取材が入った場合は，撮影された映像・画像はテレビ，新聞等の各種媒体において利用されることがあります。撮影されたくない参加者の方は担当者に申し出てください。